

経営比較分析表（令和4年度決算）

佐賀県唐津市 国民宿舎虹の松原ホテル

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	観光施設事業	休養宿泊施設	A 2 B 2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	建物延面積(m ²)	宿泊定員数(人)	
該当数値なし	該当数値なし	4,068	110	

客単価(円)	指定管理者制度の導入	インターネットによる予約割合(%)
6,075	利用料金制	9.8
パリアフリー法の基準適合性	トイレ洋式化率(%)	Wi-Fi設置
無	96.1	有

グラフ凡例	
■	当該施設値(当該値)
—	類似施設平均値(平均値)
—	令和4年度全国平均

分析欄

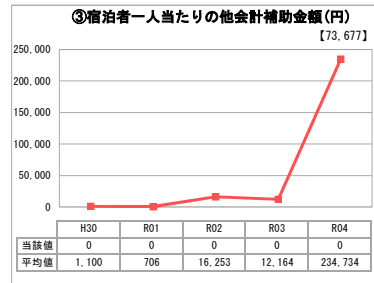
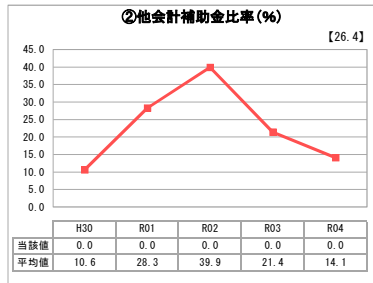
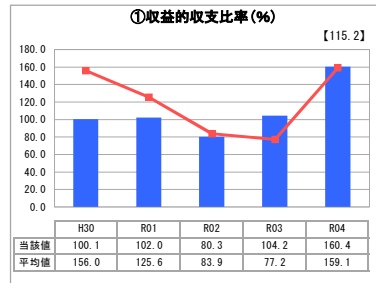
1. 収益等の状況について
 平成27年度以降は、地方債の償還が完了したことにより、収益的収支比率は改善した。
 平成30年度以降は定員稼働率も改善し、売上も増加してきたが、令和元年度未からは新型コロナウイルスの影響により利用者が減少、令和2年度は年間を通して利用者減となり収益も悪化、売上高GOP比率、EBITDAともにマイナスとなった。
 令和3年度、令和4年度については、引き続き新型コロナウイルスの影響により利用者数は低調であったが、令和4年2月から令和4年12月において、他の宿泊業務での用途が発生したため、一時的に収益が増加、売上高GOP比率、EBITDAともに改善している。

2. 資産等の状況について
 民間譲渡を検討しており、民間譲渡に向けて最低限必要となる設備を整備していくために、設備投資見込額にその金額を計上している。
 平成26年度には地方債の償還を終えたため、それ以降の債務残高は0になっている。

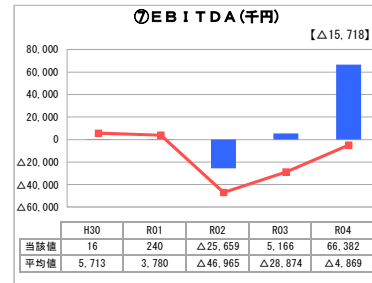
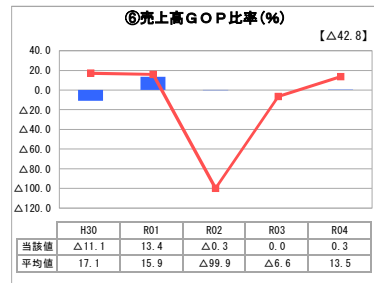
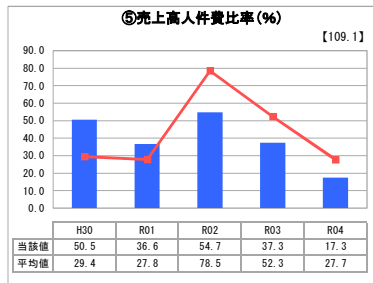
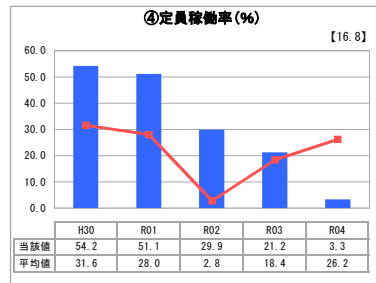
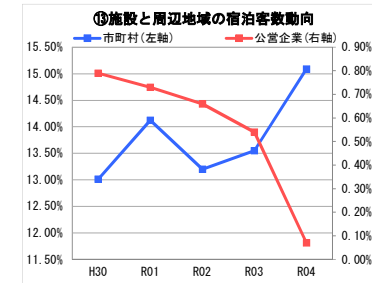
3. 利用の状況について
 平成30年度以降、宿泊料が周辺施設より安価であるという特長を活かしながら、インバウンド需要をより多く取り込むことに注力した効果から、利用者は増加傾向にあったが、令和元年度からは、新型コロナウイルスの影響により利用者数は減少した。令和3年度においては、コロナ感染拡大防止対策として市の要請に応え予約受付を一時停止、加えて令和4年2月から令和4年12月において他の宿泊業務での用途(施設借上)が発生したため利用者数は、さらに減少した。

全体総括
 新型コロナウイルスによる宿泊需要の低下が継続しているため利用者数は引き続き減少した。しかしながら、令和4年2月から令和4年12月において他の宿泊業務での用途が発生し、それに伴う収入が増加したため一時的に経営状況が改善した。
 市として地域全体の観光需要の回復へ取り組んでいく必要があるが、当該施設については、収益性を高めるために民営化の検討が必要と考えており、関係機関と調整を回っている状況である。

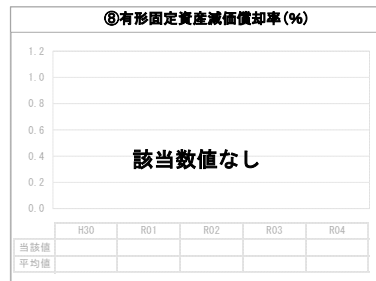
1. 収益等の状況



3. 利用の状況



2. 資産等の状況



⑨施設の資産価値(千円)

565,688

⑩設備投資見込額(千円)

44,000

